

1から100まで

～いわて銀河ウルトラマラソン応援ソング～

作詞・作曲 halu**

初めて歩いた日
父と母が嬉しそうに
何度も話してくれる
ぼくの^{いのち}のハイライト

1から100までの思い出を
胸にしまってここに立っているから
孤独^{ひとり}じゃないと思えるんだ
ほらもう ゴールが見える

初めて恋した日
臆病な性格が邪魔をして
踏み出せず アイツに
先越され悔しくて泣いた

1から100までの旅路の
スタートラインに立ったぼくたちは
自分を誇りに思えるだろう
走り抜ける力を信じてみよう

今なら 恐れも勇気にできる
それは弱さではなく
本気だから、大切だから

1から100までの思い出を
胸にしまってここに立っているから
孤独^{ひとり}じゃないと思えるんだ

1から100までの旅路の
スタートラインに立ったぼくたちは
自分を誇りに思えるだろう
走り抜ける力を信じてみよう

きみがいる ゴールが見える

春の桜 夏の青空
雨に濡れて笑い合った
秋の夕焼け 冬の白い吐息
立ち止まったときに そっと

「がんばれ」の代わりに きみは
大好きと抱きしめてくれた
何よりも 温かいその手で